

平成 22 年度 第 2 回 日本海海況予報

1. 今後の見通し(2010年7月～9月)

- (1) 隠岐諸島北西の暖水域は、北東に移動する。隠岐諸島北東の暖水域は、東に移動して能登半島に接近する。佐渡島周辺の暖水域は、北に移動して男鹿半島南方に分布する。男鹿半島北方の暖水域は、消滅する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、弱い。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、強い。佐渡島沖、入道埼沖の各冷水域の張り出しは、やや弱めで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや低め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”で経過する。

1. 経過(2010年3月～5月)

- (1) 3月に隠岐諸島西方にみられた暖水域は、5月に消失。3月に隠岐諸島北東にみられた暖水域は、ほぼ停滞。3月に能登半島北方にみられた暖水域は、東に少し移動。3月に佐渡島北東にみられた暖水域は、佐渡島北東～男鹿半島まで拡大。3月に男鹿半島西方にみられた暖水域は、津軽半島沖に移動。
- (2) 島根沖の冷水域は、3月は規模はかなり小さく接岸状況は平年並み。4月はやや大きく接岸状況は平年並み。5月は規模接岸状況ともに平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、3月は規模はやや小さく接岸状況は平年並み。4、5月はやや大きくやや接岸。佐渡島沖の冷水域は、3～5月は規模はやや小さく接岸状況は平年並み。入道埼沖の冷水域は、3月は規模はやや小さく接岸状況はやや接岸。4月はかなり小さくやや離岸。5月はやや小さくかなり離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
3月：日本海西部の沿岸付近で“やや低め”、佐渡島北西沖合で“やや高め”。
4月：隠岐諸島周辺と男鹿半島西方沖で“やや高め”、能登半島北方で“やや低め”。
5月：日本海中部域を中心に日本海の多くの海域で“かなり低め”～“はなはだ低め”。男鹿半島南方で“かなり高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部北部とも“平年並み”(3月)。

3. 現況(2010年6月)

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北西、隠岐諸島北東、佐渡島周辺、男鹿半島北方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模はかなり小さく接岸状況はやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、規模はやや大きくかなり接岸。佐渡島沖の冷水域は、規模はやや小さく接岸状況は平年並み。入道埼沖の冷水域は、規模はやや小さくやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、日本海西部の一部を除きほとんどの海域で“やや低め”～“かなり低め”で“はなはだ低め”の海域も広く分布。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

”はなはだ高め”：約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ

”かなり高め”：約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ

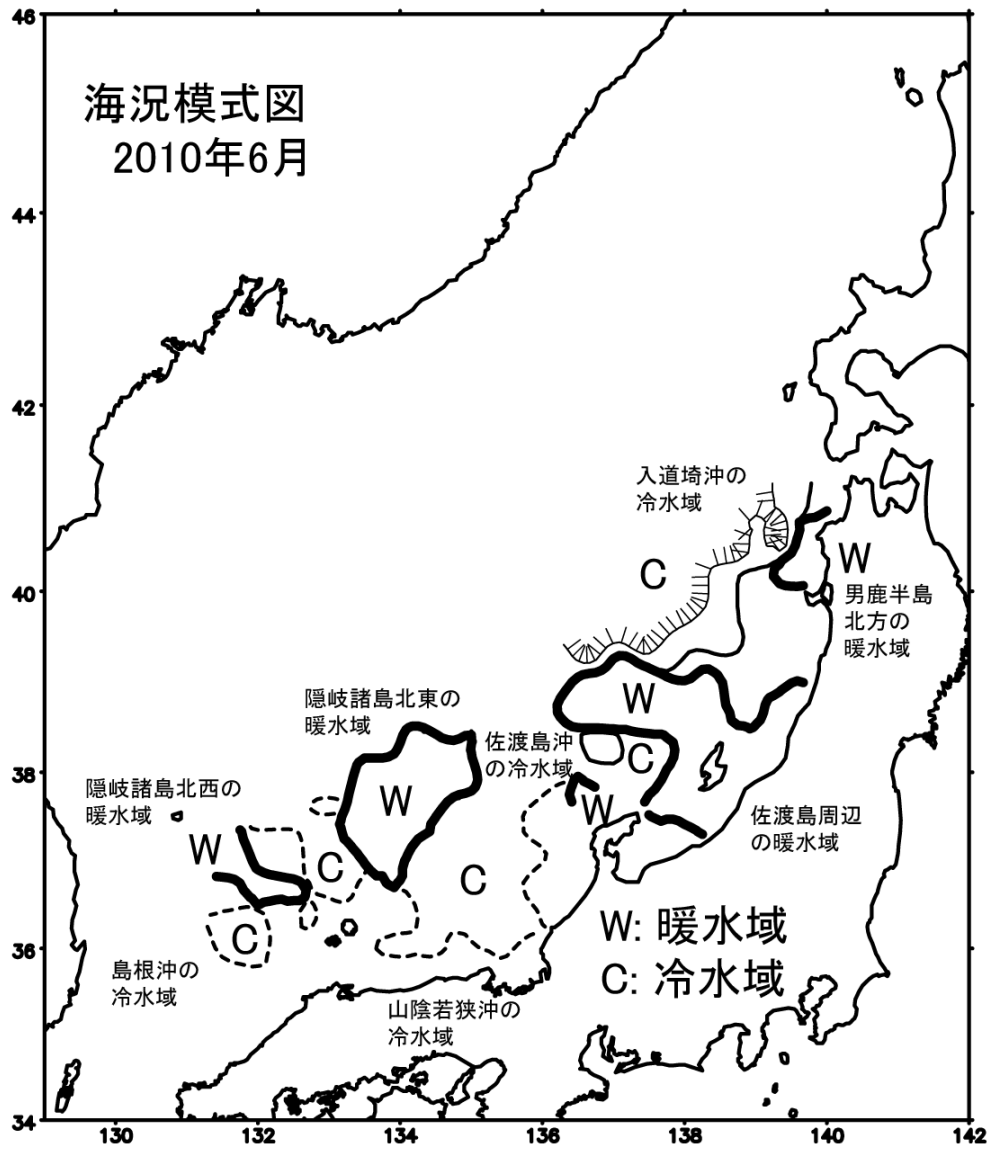
”やや高め”：約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ

”平年並み”：約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温

”やや低め”：約4年に1回の出現確率である1℃程度の低さ

”かなり低め”：約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の低さ

”はなはだ低め”：約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の低さ



2010年6月の海況模式図

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	京都府農林水産技術センター 海洋センター
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	兵庫県立 農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
秋田県農林水産技術センター 水産振興センター	鳥取県水産試験場
山形県水産試験場	島根県水産技術センター
新潟県水産海洋研究所	山口県水産研究センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	社団法人 漁業情報サービスセンター
石川県水産総合センター	水産庁 増殖推進部 漁場資源課
福井県水産試験場	独立行政法人 水産総合研究センター 日本海区水産研究所